123

緑の学び舎づくり事業

(教育庁地域教育支援部/一般会計)

事 業 開 始 平成 19 年度 事業終了予定 平成 年度

【局評価】

1 どのような経緯で事業を始めたか、何を目指すのか

- 平成19年度以降環境局において、ヒートアイラン ド対策や緑あふれる都市を再生する一環として校庭 芝生化事業を本格実施し、25年度に、取組を一層推 進するため教育庁へ事業が移管された。
- 子供たちの健やかな成長にとって望ましい教育環 境の整備を目的として、都内公立小中学校等の校庭 芝生化、校舎の屋上・壁面緑化を推進している。

根拠法令等 緑の学び舎づくり事業補助金交付要綱等

2 どのように取り組み、どのような成果があったか

- 都内公立小中学校等の校庭芝生化、校舎の屋上・ 壁面緑化を計画する区市町村に対し、工事費及び維 持管理費の補助を実施している。
- 事業の周知を図るため様々なイベントの実施(シ ンポジウムの開催、東京都教育の日のテーマに設定 するなど) や広報紙を配布するなど、芝生化の魅力 の普及啓発を行っている。
- 緑の学び舎づくり事業が定着し、都内の全ての区 市町村で校庭芝生化整備が実施されている。
- 学校現場からは、児童・生徒の外遊びをする時間 が増えた、校庭におけるケガが減った、芝生の活用 と維持管理を通じて、地域の力を取り込んだ学校の 活性化につながったなどの声が聞かれている。

3 どのような課題や問題点があったか

- 緑の学び舎づくり事業が一定程度広まったため、計 画校数を見直す必要がある。
- 区市町村にとって、芝生化整備後の維持管理経費の 財政的な負担が大きい。
- 学校と地域によって設立される維持管理組織の人材 確保の困難さや専門知識不足により、安定的・継続的 な維持管理活動が困難となる学校がある。

【財務局評価】

5 財務局として、成果や課題などについて、どう考えたか

- 教育環境の一層の充実のため、校庭の芝生化や屋上 ・壁面緑化を推進することは重要である。
- また、芝生整備後の維持管理の負担軽減のため、学 校と地域とが連携した芝生維持管理体制づくりを一層 促進することは重要であり、事業効果を見極めた上で 実施していく必要がある。

4 局として、事業をどうしていきたいか

拡大・充実 見直し・再構築 移管・終了

○ これまでの実績や区市町村の意向等を踏まえ、新規 整備における計画校数の見直しを図るとともに、学校 と地域が連携した芝生維持管理体制づくりの更なる促 進を図るなど、芝生整備後の維持管理に係る負担が軽 減される事業を推進していく。

< 負担軽減策>

- ・維持管理経費補助期間を3年から5年に延長
- 芝生を用いた地域連携事業の推進
- ・芝生の専門家を定期的に芝生化校に派遣
- 児童・生徒の外遊びが増えたり、学校と地域のつな がりが促進されるため、地域連携に重点を置きながら 事業を推進していく。

歳入	26年度決算額	30, 836	千円	Ī
	27年度予算額	27, 400	千円	l
	28年度見積額	16, 440	千円	

26年度決算額 1.072.927 千円 1 27年度予算額 1.887.430 千円 ▮ 28年度見積額 1.300.046 千円

その他

6 28年度予算で、どのように対応したか 拡大・充実 見直し・再構築 移管・終了 その他

○ 経費を一部精査した上で、所要額を計上する。

歳入	28年度予算額	16, 440	千円
歳出	28年度予算額	1, 294, 976	千円